

復刊

ハザミ



所沢図書館だより
復刊27号(通巻105号)
題字 高橋 玄洋 氏

目次

- P.1 本多静六書簡三通
- P.2 絵本の読み聞かせについて
- P.3 ブックリストの紹介
- P.4 特集展示コーナー
- P.5 図書館用語集
- P.6 図書館活用法

本多静六書簡三通

小暮 晴彦

父は村の青年団長をしていた大正三年、高名な林学の泰斗本多静六博士を招き、小手指青年団主催の講演会を開催した。講演会は大成功だったという。機嫌のよいときはよくこの話をした。父にとつて生涯唯一の自慢話であった。経緯はさだかではない。恐らく父は本多静六の著書を愛読し読後の感想を添えて講演を依頼したものと思われる。

父の死後、文箱から本多静六の書簡三通がみつかった。返信本文の書き出しには「御希望によつては無報酬手辨当にて出張講演いたすも差支無之候…云々」と綴られている。父がよく語った「無報酬手辨当」の文言はウソではなかったのだ。

第二便「解説文」には「拝復折角の御申越には候へ共二十日小生差支有之候ため十八日(日曜)午前十一時三十分頃武蔵野線(※)

西所澤駅着の列車にて貴地出張可致候(略)尚演題は農村繁多の折柄として『農村の覚悟』を題し講演致し度くと存居候先ハ右不取御返事迄勿々」

十一月八日 本多静六

小暮亀之助殿

と認めてあり、第三便はハガキで、開催日時と鉄道着駅と題目が記されてあった。今でいう「確認」を意味する簡潔な文面である。

さて、これに対して父は尊敬する鹿島常蔵村長に相談している。村長の助言も簡潔であった。「講演料や接待は二の次でよい。一番肝要なのは会場を聴衆で満員にすること。この一語に尽きる」というものであった。村会議員や隣村の団長まで招待したその日の講演会は講堂が溢れんばかりの盛況であったという。

これには後日譚がある。講演が終ったあと隣村の某団長が講師に

直接交渉して講演の承諾を得たというのである。当日父も案内をうけていたので出掛けて行くと室内がガランとしていた。予測が狂った某団長は校長に頼んで生徒を集め席を埋めた。壇上に立った本多博士は会場をひとわたり見回した後「今回は生徒諸君が多いようなので、演題をかえ皆さんにわかる話をしましょう」と言つて話題をかえたというのである。父からこの話を聞いたとき、失敗談だが教訓にとんだよきエピソードだと思つたことである。

※武蔵野線：現在の西武池袋線(書簡の解説文Ⅱ木村立彦)

○本多静六／著(所沢図書館蔵書)
『私の財産告白』実業之日本社
『本多静六自伝体験八十五年』実業之日本社 等

小暮 晴彦 氏

一九三五年、所沢市生まれ
主な著書

☆俳文集『春ふたり』小柳悦朗・小暮牛男共著

☆エッセイ集『ペンたこ人生』全三十集 等

絵本の読み聞かせについて ご紹介します

みなさんは、子どもの頃に、絵本や物語を読んでもらったことがありますか？ 所沢図書館では、小学生以下の子どもたちを対象に、「おはなし会」を行っています。「おはなし会」では、絵本の読み聞かせのほか、何も見ないでおはなしを語る、いわゆるストーリーテリングや、季節に合わせた紙芝居など、さまざまな内容を行っています。その「おはなし会」で主に行われている、絵本の読み聞かせについて、ご紹介します。

子どもたちと 本と 読み聞かせ

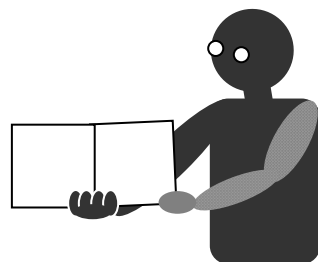
おはなしを読んでいると、大人でも、ドキドキしたり、ワクワクしたりしますよね。物語の中で、子どもたちは主人公になりきって驚き、喜び、知恵と勇気で困難を乗り越える体験をします。これらの擬似体験は想像力を育て、生き

る力を育み、困難に立ち向かうときのエネルギーとなります。

子どもたちは、本を読んでもらうことで、おはなしの世界をより楽しみます。文字が読めない乳幼児期はもちろん、文字が読めるようになった小学校低学年などでも、文字を追うことで手いっぱいにならず、おはなしを楽しむ余裕ができます。

また、読み聞かせによって、日ごろ手に取らない分野の本を紹介することは、子どもたちに本の楽しさを伝え、いろいろな本に出会う機会にもなります。それは本への興味につながり、読書力を深める力となる、と、私たち図書館職員は考えています。

図書館での読み聞かせは、「本の楽しさを伝えること」を目的としています。生の声で、目の前にいる子どもたちのために、子どもたちの反応を見ながら、心を込めて読むように心掛けています。



読み聞かせのポイント

所沢図書館で読み聞かせの行事を行うとき、主に気を付けているポイントをご紹介します。

【絵本を選ぶとき】

- ある程度の大きさがある本で、絵がよく見えること
- 長く読み継がれているもの
- おはなしが丁寧に展開しているもの
- 絵と文のバランスがとれているもの
- 聞き手の年齢にあったもの

【読むとき】

- 安定した持ち方をする
- 手で絵を隠さないようにする
- ページをめくったら、一呼吸おいて読む
- 文章のない部分はゆっくりと絵を見せる

今回は、大人数に読み聞かせをするときに、所沢図書館でどのように絵本の読み聞かせをしているかをご紹介します。絵本だけでなく、昔話のおはなしや、詩、ときにはクイズをするときもあります。

お家で読み聞かせをするときは、また違ったやり方なので、所沢図書館の一例として、みなさんの参考になれば幸いです。

また、この内容は、所沢図書館本館および各分館にて配布している、「グループ向け 読み聞かせガイド」という冊子を参考にしています。こちらには、読み聞かせに向く本のリストも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



小・中学生向け
ブックリストを
作成しています！

所沢図書館では、毎年、夏休み

前に、小学生や中学生のためのブックリストを作成しています。完成すると、市内の全小中学校へ配布するほか、本館および分館の子ども向け図書のコーナーで展示と配布を行っていますので、ご覧になった方もいらつしやることと思います。

このブックリストは、長く読み継がれてきた、大人のみなさんも読んだことのある本から、出版されたばかりの新しい本までを対象に、所沢図書館に勤務する司書や職員が、ぜひ読んで欲しいと思う本を選定して、作成しています。

ここでは、その選定された本のうち、一九九〇年から二〇一九年の間に、複数回、当館のブックリストに掲載された本で、近年掲載された本を選抜して、五十音順の一覧にしました。



みなさんがご存じの本は、ありますでしょうか？
こちらで紹介している本は、すべて所沢図書館に蔵書があります。昔読んだ懐かしい本など、ぜひ手に取って、ご覧ください。

また、毎年新しいブックリストを作成し、みなさんにお配りしております。

みなさんのご来館、お待ちしております。

【参考】

・「ほんがいつぱい よんでみよう！」二〇一七〜二〇一九年版
・「ほんがいつぱい Teen's」二〇一七〜二〇一九年版

	書名	著者名	出版社
あ	あたまをつかった小さなおばあさん	ホープ・ニューウェル/作	福音館書店
	エルマーのぼうけん	ルース・スタイルス・ガネット/さく	福音館書店
か	かぞえたのほん	岸田衿子/作	福音館書店
	かにむかし	木下順二/作	岩波書店
	きゅうきゅうばこ	山田真/ぶん	福音館書店
	くしゃみくしゃみ天のめぐみ	松岡享子/作	福音館書店
	くろいはかげさ	ことばあそびの会/文	さ・え・ら書房
	こいぬがうまれるよ	ジョアンナ・コール/文	福音館書店
	ことばあそびうた	谷川俊太郎/詩	福音館書店
	これはのみのぴこ	谷川俊太郎/作	サンリード
	深呼吸の必要	長田弘/著	晶文社
さ	センス・オブ・ワンダー	レイチェル・カーソン/著	新潮社
	ムーミン童話全集2 たのしいムーミン一家	トーベ・ヤンソン/作・絵	講談社
た	ちいさいうち	バージニア・パートン/おはなしとえ	岩波書店
	ちびっこカムのぼうけん	神沢利子/作	理論社
	ちびっこタグボート	ハーディー・グラマトキー/著	学研
	どうぶつはやくちあいうえお	きしだえりこ/作	のら書店
	トムは真夜中の庭で	フィリパ・ピアス/作	岩波書店
	七人のゆかいな大どろぼう	たかしよいち/作	理論社
は	はんぶんのおんどり	ジャンヌ・ロッシュ=マゾン/さく	瑞雲舎
	ふしぎなたいこ	石井桃子/ぶん	岩波書店
	ふしぎなナイフ	中村牧江/さく	福音館書店
	ホビットの冒険	J.R.R.トールキン/作	岩波書店
や	約束の国への長い旅	篠輝久/著	リブリオ出版
ら	ロバのシルベスターとまほうのこいし	ウィリアム・スタイグ/作	評論社

所沢図書館本館の 特集展示コーナー

所沢図書館では、各図書館において、特集展示のコーナーを沢山設けています。今号では、本館の展示コーナーをご紹介します。

1階

こども室・ガラスケース展示 健康・医療・ビジネスコーナー

1階には、こども室、健康・医療コーナー、ビジネス情報・新聞コーナーなどがあります。入口を入って左側に、2つのガラスケースがあります。



ケースの中では、大きな本や、珍しい本の展示を行っており、職員が2か月に1度、入れ替えをしております。

こども室には、季節の本、小・中学生向けブックリストの本（3ページ参照）、過去のブックリストの本、職員が考えた2か所の展示コーナー、大型絵本を飾っている場所があり、大人も楽しめます。



一方、健康・医療コーナーでは、現在、国立がん研究センターと連携を図り、各種がんに関する冊子を配布中です。ビジネスコーナーでは、主に就労関係や所沢市主催のビジネス向け講座のチラシなどを配布しております。各コーナー内に、貸出可能な図書もありますので、ご興味のある分野の情報誌と共に、ご覧ください。

2階 一般室・季節の本展示



2階は、一般書と雑誌のフロアになります。階段側と窓側に展示コーナーを設けており、季節の本のほか、職員が考えた展示を行っています。また、所沢市が主催となるイベントとの連携展示を行うこともあります。毎月の館内整理日に入れ替えをして、飾りつけも変えております。



3階 参考図書室・航空コーナー

3階は、調査研究用の参考図書、埼玉県や所沢市に関する郷土資料があり、カウンター付近に、航空コーナーがあります。所沢市は航空発祥の地ということで、飛行機などに関する資料を置いています。



また、1階と3階にリサイクル本のコーナーがあり、除籍になった本などを自由に持ち帰りができるようになっています。



利用者の皆様に新鮮な情報を届けられるよう、様々な工夫を凝らし、展示しております。ご来館の際にご覧くださいと、嬉しく、職員の励みになります。

図書館用語集



図書館では、普段の生活ではあまり聞かないような専門用語を使うことがあります。図書館を利用する際に知っていると便利な言葉もありますので、所沢図書館でよく使う言葉をいくつかご紹介します。

【ISBN】 アイエスビーエヌ

International Standard Book Number (国際標準図書番号) の略です。本ごとに付与されている固有の番号で、出版国＋出版社コード＋書籍管理コード＋チェックデジットの計13桁で構成されています。特定の本を検索する時に便利です。

【OPAC】 オペック・オーパック

図書館の蔵書目録をデータベース化し、利用者がコンピュータを用いて検索できるようにした

ものです。コンピュータ化されるまでは紙のカード式の目録でした。

【禁帯出】 きんたいしゅつ

図書館資料の利用を館内閲覧に限定することで、参考図書、貴重書、新着雑誌などが該当します。

【相互貸借】 そうごたいしやく

利用者が読みたい資料の所蔵が図書館にないとき、ほかの図書館から借りて利用者へ提供します。所沢図書館で、所蔵がない場合は相互貸借のルールを守ったうえで、埼玉県内の図書館などからお取り寄せします。県内にも所蔵がなく、絶版の場合、国立国会図書館や県外の公共図書館からのお取り寄せをする場合もあります。所沢図書館の本も他市から依頼があれば貸出しています。

ます。

【装備】 そうび

図書館資料として受け入れた図書等を、蔵書印を押したり、背ラベルやバーコードを貼るなどして閲覧や貸出ができる状態にすることです。これにより図書の管理ができるようになります。

【排架(配架)】 はいか

返却をした本などを正しい書架の位置に並べることを指します。



【ブックトラック】

本を運ぶときに使う車輪付きのカートのようなものです。「ブックトラ」と略して言うことも多いです。

【分類法】 ぶんるいほう

分類法は本をテーマごとに分け、数字をつけています。所沢図書館では、NDC 日本十進分類法 (Nippon Decimal Classification) に基づいて本の分類をし、請求番号を設定しています。

【別置】 べいち

本のサイズや洋書等、種類によって書架の請求記号とは別の場所に置かれている本です。所沢図書館では、データ上、大型本はH・文庫本はBなど別置記号を付けています。



以上、所沢図書館で日常的に使われている用語を紹介しました。紹介できなかったものも多々ありますので、興味がありましたら、是非調べてみてください。

【参考文献】

『図書館のしごと』 国際交流基金関西国際センター／編著
読書工房 2021年

『知っておきたい図書館の仕事』
図書館の仕事作成委員会／著
エルアイユー 2003年

『図書館用語集』 日本図書館協会用語委員会／編集 日本図書館協会 2013年

図書館活用法

図書館は、幅広い分野の資料収集を行い、利用者が必要とする情報を提供する施設です。図書館サービスの中で今回は、「レファレンス」サービスについて、お話しします。

「レファレンス」とは？

「レファレンス」は、皆様の疑問（質問）を調べるお手伝いをすることをいいます。では、レファレンスの際には、どんな情報源を利用するのでしょうか？ 所沢図書館参考室で利用できる情報源の一部を紹介します。

「情報源」と「情報源利用法」

◇参考図書◇

基本的な言葉の意味等を調べることができます。

(例) 百科事典・辞書・辞典類等

◇地域資料◇

自治体の歴史やサービス等を調べることができます。

(例) 『所沢市史』等所沢市・埼玉県関係の郷土資料・地方行政資料

◇データベース◇

新聞記事や資料等がデータ化・

集約され、キーワード等から調べることができます。

(例)

◎聞蔵Ⅱ 朝日新聞記事データベース

◎ヨミダス歴史館 読売新聞記事データベース

◎国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

※図書館に設置されているインターネット端末より利用可能、詳細はお問い合わせください。

◇インターネットサイト◇

書籍類に記載の無い情報等を得ることができます。

(例)

◎埼玉県立図書館 調査・相談（レファレンス）に役立つリンク集

◎国立国会図書館リサーチ・ナビ

◇類縁機関紹介◇

皆様の質問に回答が可能な他の図書館や専門機関等をご紹介します。

これらの情報源を活用し、皆様の質問に対し必要な資料を探していきます。一例を紹介します。

質問：日本茶について知りたい
情報源(例)

○参考図書で情報を得る

『茶の機能』日本茶業中央会／企画 農山漁村文化協会 2013年

『緑茶の事典』高野實ほか／執筆 柴田書店 2005年

『地域食材大百科第12巻』農山漁村文化協会 2013年

○地域資料で情報を得る

『所沢の狭山茶』所沢市産業経済部農業振興課 2020年

○データベースで情報を得る

『聞蔵Ⅱ 朝日新聞記事データベース』

「レファレンス」を利用する

所沢図書館ではカウンターや電話でのレファレンス受付のほかに、「Webレファレンス」の受付を行っています。図書館ホームページの「利用者のページ」よりお申込みができます（所沢図書館の利用券とパスワードが必要です）。ぜひご利用ください。

【参考文献】

『図書館ハンドブック第6版補訂2版』日本図書館協会図書館ハンドブック編集委員会／編 日本図書館協会 2016年

『図書館情報学ハンドブック』図書館情報学ハンドブック編集委員会／編 丸善 1999年

編集発行：所沢市立所沢図書館 〒359-0042 所沢市並木 1-13

ホームページアドレス パソコン <https://www.tokorozawa-library.jp/>

スマートフォン <https://www.tokorozawa-library.jp/opw/OPS/OPSINDEX.CSP>

電話 / FAX

本館	04-2995-6311 / 04-2992-1421	富岡分館	04-2943-3636 / 04-2943-6680
所沢分館	04-2923-1243 / 04-2928-8195	吾妻分館	04-2924-0249 / 04-2928-8250
椿峰分館	04-2924-8041 / 04-2928-8148	柳瀬分館	04-2944-4023 / 04-2945-7236
狭山ヶ丘分館	04-2949-1193 / 04-2949-8577	新所沢分館	04-2929-1905 / 04-2929-1906
松井小学校図書館	04-2992-2796 / 04-2992-2797		